

③ 観光施設でのユニバーサル化普及事業

《実施主体：観光まちづくり団体、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・観光施設等でのユニバーサルサービスの普及・定着を目指し、各種セミナー等を開催する。

④ 公共インフラ（道路空間、公園、公共施設）のユニバーサル化

《実施主体：富士河口湖町、（要望：国、県）》

- ・道路、公園、公共施設等におけるハード面のバリアフリー化を進める。

【長期的に検討する事業】

○サービス介助士の普及促進

■参考事例

ユニバーサル意識の醸成の事例（ユニバーサルサービスハンドブックの作成：千葉県）

千葉県では、宿泊施設におけるユニバーサルサービスの普及を目指し、「ユニバーサルサービスハンドブック」を作成している。



(22) 近距離市場に向けたリピート・滞在利用促進プロモーション

【主導施策14】 何度来ても楽しい“まるごと休暇村”づくり

■狙い

- ・都心から2時間足らずの距離にある「何度来ても楽しいまち」としての認知度向上と滞在化、リピート化を目指し、多様な体験プログラムを気軽に楽しめるようにする工夫や、町内の観光施設全体でのリピーターへの特典付与など、“全町まるごと休暇村”の実現を目指す。
- ・またその一環として、河口湖温泉のPR・プロモーションを強化し、訪れやすい温泉地としてイメージ強化を図る。

■事業

① 「全町まるごと休暇村」の実現に向けた研究

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・全町をまるごと楽しんでもらうために、富士河口湖町の「観光ポイントカード」や、プリペイド型で特典付きの「休暇村滞在利用券（リピート滞在利用券）」の発行など、体験プログラム等に気軽に参加できるようなシステムについて研究を行う。

② 温泉地としてのPR・プロモーション強化

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町、旅館組合等》

- ・滞在型観光を推進するため、各種メディアを活用した情報発信やキャンペーン等を実施し、富士河口湖町の温泉地としての知名度向上を目指す。
- ・また、河口湖駅等における足湯など、温泉地としての“風情”を高めるような対応についても検討を行う。

【前期で終了した事業】

○イベントラリー事業

(23) 中長距離市場に向けた周遊利用促進プロモーション

【施策】 遠くからでも気軽なアクセス環境づくり

■狙い

- ・東海道新幹線との接続や主要空港との接続を改善することにより、関東圏以外の市場、特に近畿以西からの入込みの増加を目指す。
- ・また、拡充するアクセス手段を実際に利用しようとする観光客に対してインセンティブを与え、当該アクセスの利用を促す。

■事業

① 東海道新幹線と町との間のアクセス手段の充実

《実施主体：交通事業者、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・三島、新富士、静岡の3駅と町とを結ぶアクセスバスの増強を交通事業者に働きかけるとともに、特に中京圏・関西圏においてこれらのアクセス手段について交通事業者と共同でPRを行う。
- ・PRにあたっては、町のイベント宣伝とも絡め、施設利用の割引等も実施し、バス会社だけのPRではなく、官民が一体となって運行を支える仕組みをつくり、中京圏・関西圏の旅行エージェントやマスメディアに積極的に情報発信する。
- ・認知され、運行が軌道に乗るまでは、地元住民にも利用を促し、地域全体で支える意識づくりが重要である。

② 主要空港と町との間のアクセス手段の充実

《実施主体：交通事業者、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・羽田、中部、松本、富士山静岡（平成21年開港）といった主要空港と町とを結ぶダイレクトアクセス（高速バスや乗り合いタクシー）の開設を交通事業者に働きかける。
- ・これらのアクセスの開設については、①同様に、施設利用割引を行うなど、PR面での支援を実施する。

■関連施策・事業

- | |
|---|
| ○観光宣伝誘客ツール（パンフレット、ポスター、DVD等）の充実
○観光キャラバンの成果検証と情報共有 |
|---|

(24) 特定地域からの来訪促進

【主導施策15】 ターゲットを絞った的確なプロモーションの実施

■狙い

- ・海外市場のニーズは国・地域によって違いがあることから、それぞれのニーズの把握と、それに対応した受入体制を整備し、目的意識の高い旅行者やリピーターの獲得を目指す。

■事業

① 有望市場の調査の定期的実施

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・外国人観光客の取扱いに強いエージェントなどに対してアンケート調査を行うなど、有望市場の調査を定期的に行う。
- ・一般的な傾向はJNTOの調査を活かしながら、エージェントには、富士河口湖町のポテンシャルを活かした施策の検討に資する調査（アンケート調査など）を実施する。
- ・具体的には富士河口湖町の認知度や要望、どういった層が富士河口湖町のような環境条件の観光地を好むのか等、ターゲットの絞り込み、ターゲットのニーズ、滞在中の対応策、望ましい価格帯とサービスの質等について把握できるような調査を実施する。
- ・アンケート調査に関しては、web上で答えてもらえるような方策も検討する。

② 成熟市場に対する高付加価値型旅行の提案

《実施主体：観光まちづくり団体、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・多くの人が来日し、数回目の来日という人も珍しくなくなったFIT*市場に対して、体験プログラムの紹介や、歴史文化の掘り下げ、趣味や実益を兼ねた観光など、高付加価値型の旅行を、ホームページやパンフレット等で提案・発信する。
- ・旅行商品における高付加価値は、観光旅行を強力に動機づける“魅力”に他ならない。その“魅力”は、観光資源の背後にある“物語”であり、その場所でしか味わえないモノやコトである。風土を活かし、人との交流を活かし、「その土地その季節でなければ」というモノやコトを織り込んだ、ストーリーを感じさせる旅行商品を開発し提案していく。

③ JNTOの有効活用と連携強化

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・積極的なJNTOへの観光情報の提供等を通じ、効果的・効率的な情報発信を行う。

④ オンライン専門の旅行会社や各種メディアに向けたプロモーション強化

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・これまであまり実施してこなかった、オンライン専門の旅行会社や海外の旅行雑誌等のメディアを対象とした戦略的なプロモーションを行う。

※FIT 市場：旅行者自らが計画をたて交通や宿泊の手配も行う個人手配旅行の市場

⑤ トップセールスの効果的な実施

＜実施主体：富士河口湖町＞

- ・町長によるプロモーションを戦略的に実施する。

■ 関連施策・事業

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">○訪日教育旅行受入体制の整備・促進○定期的な情報提供 |
|---|

(25) 訪日機会を確実に富士河口湖町来訪に繋げる

【施策】 是非立ち寄ってみたいと思わせる富士河口湖町の魅力発信

■狙い

- ・日本での旅行行程を綿密に決めていない外国人旅行者や時間的に余裕を持って来日した外国人に対して、立ち寄るに値すると思わせる魅力的な情報提供を行い、富士河口湖町にじっくりと滞在してくれる個人・小グループ外国人旅行者の増加を目指す。
- ・また、富士河口湖町の良さを深く体験した旅行者を増やすことにより、その体験を母国に帰ってから口コミで広げてもらうことも期待する。

■事業

① エージェント・外国メディアとの情報交換の実施と積極的な情報提供

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・将来的に有望な市場からのエージェントやメディアの来訪に対して積極的に対応（メディアに対しては良い風景の場所や、撮りたい映像が撮れる場所を紹介するなどフィルムコミッション的な役割も果たす）して富士河口湖町の情報の浸透を図るとともに、取材対応を通じて当該国のニーズや将来性についてのリサーチ、プロモーションに役立てる。
- ・また、是非立ち寄りたいと思われるようなプログラムの造成と情報提供を行う。

② 国際空港での情報提供

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・成田空港や中部国際空港等において、富士河口湖町観光に関する情報発信を行う。

(26) 富士五湖地域の結びつけの強化

【施策】 富士五湖全体の魅力向上による誘客促進

■狙い

- ・富士五湖エリア全体で地域の魅力の棚卸しと再評価を行い、その魅力を再整理し、全体として有機的に連携させる。

■事業

① 周遊交通の充実

＜実施主体：交通事業者、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町＞

- ・富士北麓の市町村間の交通アクセスを充実させ、加えて富士山周辺の交通を充実させることで、広域での移動をスムーズにし、来町を促す条件を強化する。

【前期で終了した事業】

○観光圏整備事業の推進

【施策】 広域誘客マネジメントの仕組みづくり

■狙い

- ・富士五湖エリア全体で連携を図り、魅力づくりと誘客プロモーションを行うマネジメントの仕組みづくりを目指す受入体制の充実を図る。

■事業

① 観光情報の共有と発信

＜実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町＞

- ・富士五湖エリアにおける観光情報の共有化を促進し、富士五湖カレンダーやポスターづくり等を行い、共同で情報発信を行う。

② 富士山を中心とした外国人観光客の受入れ協働事業

＜実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町＞

- ・外国人ガイドの育成や、富士登山の外国語案内（紙、電子媒体等）等、富士五湖エリアにおける外国人観光客の積極的な受入体制整備を協力して行う。

③ 富士五湖地域の着地型旅行商品づくり

＜実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町＞

- ・富士五湖エリアを中心とした広域で、支援する地域の旅行会社と協力して魅力的な着地型旅行商品づくりを促進する。

【前期で終了した事業】

- 広域観光ルートの開発と活用(観光圏事業)
- 新規共同イベントの開発・開催(観光圏事業)
- 観光ガイドの育成(観光圏事業)

■参考事例

広域での観光情報発信の事例（金沢市と長野市の共同誘客ポスター：金沢市・長野市）

金沢市は長野市と連携し、観光PRの一環として、共同誘客ポスターを作成し、首都圏の主要駅などに掲出している。金沢市は平成 26 年に予定されている北陸新幹線金沢開業をにらみ、首都圏からの誘客と都市間交流を目的に、長野市と「集客プロモーションパートナー都市協定」を結んでいる。



(27) 観光地・都市間の結びつけの強化

【主導施策】 周辺観光地との交通ネットワークの充実

■狙い

- ・中遠距離市場からの旅行者は富士山周辺のみではなく、近隣観光地をいくつか周遊するニーズが高いことから、富士五湖エリアと周辺観光地や周辺都市とのアクセスを改善することで広域周遊の利便性を高め、国内外からの誘客促進を図る。

■方策

① 都市間・観光地間直行バスなどの、交通ネットワークの充実

《実施主体：交通事業者、富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・現状、公共交通機関は首都圏と結ぶ高速バスが主であるので、観光ルートの形成に資する都市・観光地を選定し、相手側の市町村と協議し、相互のネットワーク手段の整備を図る。

〈例〉 箱根－河口湖、伊豆－富士五湖、八ヶ岳－甲府－河口湖、
大宮発・名古屋発の通年化、etc…

② 「テーマ型ルート」の形成

《実施主体：富士河口湖町観光連盟、富士河口湖町》

- ・多様な地域と連携し、エコツアーや教育旅行といったテーマを設定した周遊ルートの検討・設定を行う。

【長期的に検討する事業】

○都市間連携による新ゴールデンルートの検討

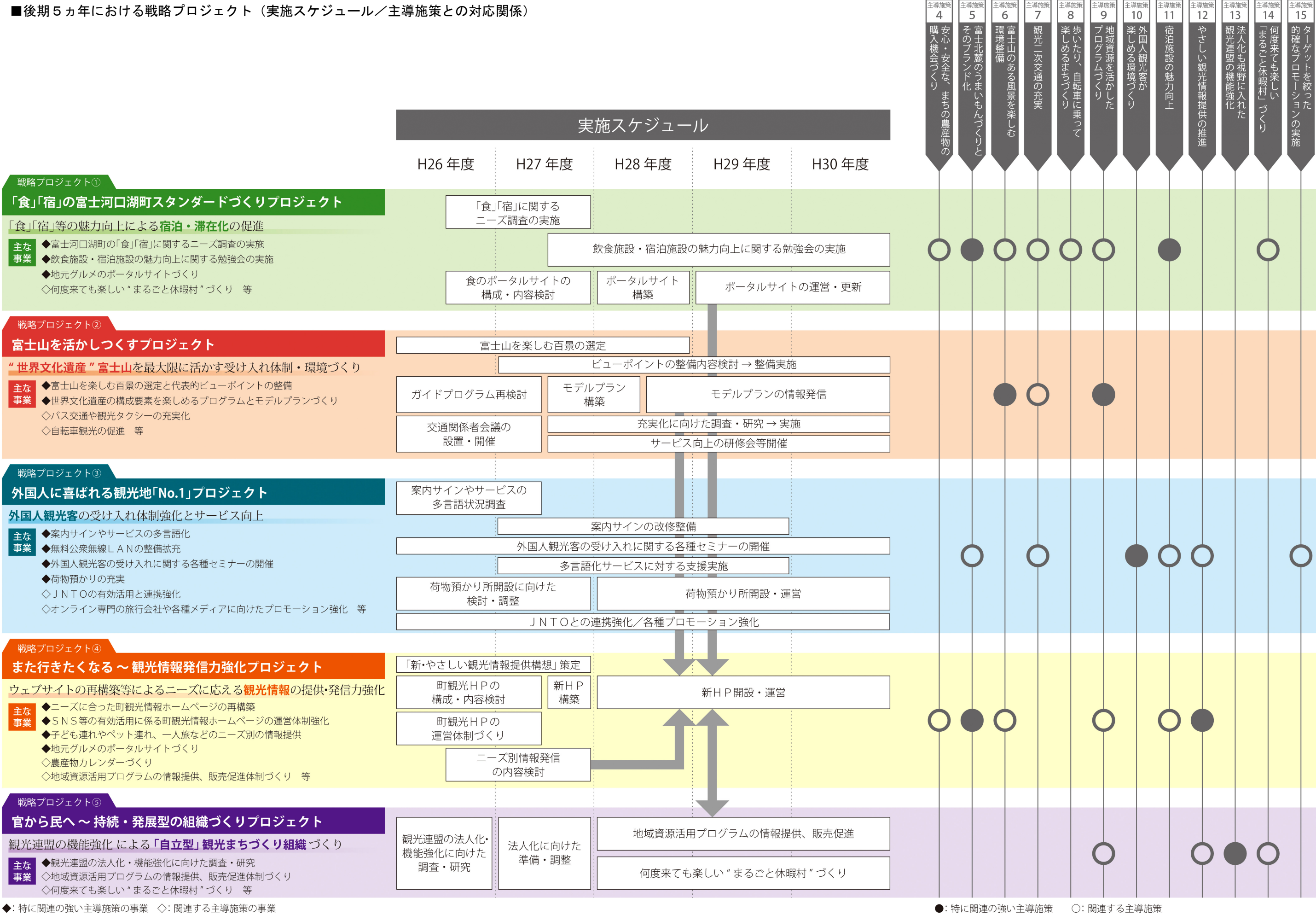
■各施策の役割

目標・狙い 政策課題	美景化	リピート化	滞在化
地域力アップ	【地-美】 (02) 住民の観光意識の向上と接遇向上 (09) 自然環境の保全と活用 (11) 良好な景観整備（風景づくり）	【地-リ】 (01) まちづくりと観光に関わる人材の育成 (02) 住民の観光意識の向上と接遇向上 (03) 住民参画の促進 (04) 国際交流の推進 (05) 観光交流を活かした農林漁業の振興 (07) 観光交流を活かした魅力的な食文化の創造	【地-滞】 (06) 観光交流を活かした街のにぎわいづくり (08) 観光交流を活かした文化・芸術・体育の振興 (09) 自然環境の保全と活用 (10) 地域資源の発掘・活用 (12) 交通基盤の充実
観光力アップ	【観-美】 (16) 国際観光対応の充実 (17) 観光産業の競争力強化	【観-リ】 (14) 地域資源を活かした滞在プログラムの充実 (17) 観光産業の競争力強化 (20) 旅行者の安全・安心の確保 (21) ユニバーサル観光の推進	【観-滞】 (13) イベントの充実 (14) 地域資源を活かした滞在プログラムの充実 (15) 自然との触れ合い環境の充実 (16) 国際観光対応の充実 (17) 観光産業の競争力強化 (18) 観光情報提供体制の強化 (19) 観光まちづくり事業体の形成 (21) ユニバーサル観光の推進
発信力アップ	【発-美】 (27) 観光地・都市間の結びつきの強化	【発-リ】 (23) 中長距離市場に向けた周遊利用促進プロモーション	【発-滞】 (22) 近距離市場に向けたリピート・滞在利用促進プロモーション (24) 特定地域からの来訪促進 (25) 来日機会を富士河口湖来訪に繋げる (26) 富士五湖地域の結びつき強化

4) 戦略プロジェクト

- ・宿泊・滞在化の促進や外国人観光客の受け入れ体制づくり、観光情報の発信などは、施策分野を横断し、各施策・事業を連携して実施していく必要がある。
- ・そこで関連する主導施策を束ねる形で、喫緊の課題に対応していくための5つの「戦略プロジェクト」を設定する（次ページ参照）。
- ・この5つの「戦略プロジェクト」は、後期5カ年間の最重要事業であり、特に力点を置いて実施していくものとして位置づける。

■後期5カ年における戦略プロジェクト（実施スケジュール／主導施策との対応関係）



5)ゾーン別施策

ゾーン別の施策を以下に示す。これらを踏まえて、地区ごとに「ビジョン」を地区住民の気運の高まりに応じてつくっていくことが必要とされる。

(1)まちなかゾーン:河口湖南岸地区(船津・浅川、小立・勝山・大嵐)

【施策】リゾートタウンセンターづくりの推進(主に船津・浅川)

- ①船津中心地区の観光まちづくりビジョンづくり事業 【全体】
- ②宿泊滞在エリア環境の充実(施設周辺の飾花、休憩スペース設置等)【観-美】
- ③船津登山道周辺地区の良好な景観形成 【地-美】

【前期で終了した事業】

- 船津・浅川地区歴史めぐり事業 【観-リ】
- 天上山公園整備事業 【観-滞】
- 小曲展望広場整備事業 【観-滞】
- 大久保にぎわい交流広場整備事業 【地-滞、観-滞】

【長期的に検討する事業】

- 観光客も楽しめる商店街づくり事業 【地-滞】
- 国際的リゾートにふさわしい船津浜の環境整備の検討
(駅から船津浜のアプローチも含めて検討)【地-美】

【主導施策】まちなか散策環境づくりの推進(主に小立・勝山・大嵐)

- ①まちなか散策促進事業(散策マップ、サイン等)【観-滞】
- ②八木崎公園の魅力アップ事業 【全体】
- ⑥歴史文化資源を活かしたガイド体制の整備 【地-滞、観-リ、観-滞】
- ⑦都市計画道路「県道・船津小海線」整備事業(船津～長浜)【地-滞】

【前期で終了した事業】

- 道の駅かつやまのグレードアップ事業(増築改修、地域製品の充実等)【観-滞】

【長期的に検討する事業】

- 大嵐花の観光まちづくりプロジェクト(花卉農家振興、花の里散策等)【地-リ】

(2) 湖水湖畔ゾーン

(2-1) 河口湖北岸地区(河口・大石・長浜)

【主導】里のグリーンツーリズムの推進

- ① 里のグリーンツーリズム推進事業 【地-リ、観-リ】
- ② 大石フルーツランドの充実 【地-リ、観-リ】
- ③ 大石地区里めぐり事業（散策マップ、解説板、散策ガイド）【地-滞、観-滞】

【施策】歴史文化のまちめぐるの推進

- ① 河口地区歴史めぐり事業（散策マップ、解説板、歴史散策ガイド）【地-滞、観-滞】

【前期で終了した事業】

- 若彦路古道ほか散策路整備事業 【地-滞、観-滞】
- 大石観光交流センター（大石紬伝統工芸館）整備活用事業 【地-滞、観-リ】

【施策】眺望環境づくりの推進

- ① 長浜親水公園整備事業 【地-滞、観-滞】

【前期で終了した事業】

- 富士山と湖の眺望園地整備 【地-美、観-美、発-滞】
- 梨川紅葉公園整備事業 【地-滞、観-美、観-滞】
- （仮称）長崎山さくらの里公園整備事業 【地-滞、観-滞】

(2-2) 西湖地区

【施策】西湖いやしの里づくりの推進

- ① 西湖いやしの里づくりの推進事業 【全体】

【長期的に検討する事業】

○ いやしの里やエコツアーと連携した民宿滞在プログラムの展開 【観-滞】

【施策】レクリエーション機能の強化

- ① 青木ヶ原樹海入口施設の充実と連携（解説機能の強化等）【観-滞】
② ハイキングトレッキングルート整備事業 【観-滞】
③ ウォーターレクリエーション（釣り等）情報提供事業 【観-滞】

【長期的に検討する事業】

○ 湖畔周遊散策路・自転車道の整備 【地-滞】【観-滞】

(2-3) 精進地区

【施策】“リゾート発祥の地”再構築

- ①歴史資産活用事業（サイン整備、昔の写真の展示等）【観-滞】
- ②精進湖宿泊滞在エリア情報発信事業（キャラバンの実施、宿泊施設・サービス一覧表の作成、ホームページの整備等）【観-滞】
- ③精進湖青木ヶ原トレイルランの開催・充実 【観-滞】
- ④幅広い団体合宿の受入促進 【観-リ】
- ⑤パノラマ台を中心としたトレッキングルートの整備 【地-滞、観-滞】
- ⑥ジビエ（鹿肉）の特産化事業（料理開発・土産品開発）【地-リ】

※本栖湖と連携

【前期で終了した事業】

- 精進湖花植運動 【地-美、観-美】

【長期的に検討する事業】

- 精進湖をフィールドとしたエコツアー商品の開発・試行事業 【観-リ、観-滞】

※トレイルラン：森や山など自然の中の道を走るスポーツ

(2-4) 本栖地区

【施策】本栖型エコツーリズムの推進

- ①本栖地区歴史めぐり事業（散策マップ、解説版、歴史散策ガイドの実施等）

【観-滞】

- ②本栖湖青少年スポーツセンター活用事業 【地-リ、地-滞】

- ③身延町と連携した本栖湖の一体的なPR 【発-リ、発-滞】

【前期で終了した事業】

- 本栖湖観光案内所の高度化事業（改修、機能強化）【観-滞】

【長期的に検討する事業】

- 本栖ブルーツーリズムの研究 【地-リ、観-リ】

- 本栖地区をフィールドとしたエコツアー充実事業（ルート整備、商品開発）【観-リ、観-滞】

【施策】名物・特産品の開発

- ①ジビエ（鹿肉）の特産化事業（料理開発・土産品開発）【地-リ】

※精進湖と連携

- ②特産品開発事業（キノコ、野菜等） 【地-リ】

(3)まきばゾーン: 富士ヶ嶺地区

【施策】まきばのグリーンツーリズムの推進

- ①まきば景観を活かした散策ルートの充実 【地-美、地-リ、地-滞、観-滞】
- ②牛乳乳製品の高付加価値化と地産地消（宿泊施設での提供等）の促進 【地-リ】
- ③交流イベントの充実（ファームフェスタ、酪農まつり）【全体】

【長期的に検討する事業】

- 観光と連携した地域振興の研究 【地-リ】
- 酪農体験交流の仕組みづくり 【地-滞、観-滞】
- 朝霧高原地区との連携 【発-リ、発-滞】

(4) 森林山岳ゾーン

(4-1) 船津胎内・くぬぎ平周辺

【施策】森のエコツーリズムの推進

- ① フィールドミュージアムの充実 【地-観-滞-リ、観-滞】

【長期的に検討する事業】

- スポーツ施設に関わるデータベース作成と営業ツールとしての活用

【観-リ、発-リ、発-滞】

(4-2) 三ツ峠・御坂山塊

【施策】山のエコツーリズムの推進

- ① 御坂山塊におけるエコツアーの展開 【観-リ、観-滞】

【長期的に検討する事業】

- エコツアーと連携した環境パトロール・ルート点検の仕組みづくり 【全体】

(4-3) 青木ヶ原樹海

【施策】樹海のエコツーリズムの推進

- ① 青木ヶ原樹海ネイチャーガイドツアーの充実（ガイドの充実、商品の多様化） 【観-リ】

【長期的に検討する事業】

- 富士山精進口登山道の保全と活用（精進口登山道活用型富士登山エコツアーの開発・試行） 【地-滞、観-リ、観-滞】